

平成 24 年厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）
「母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診、乳幼児健診データの利活用に関する研究」



出産希望年齢と妊よう力知識の関連 ～年齢による妊よう力変化を示したグラフ提示前後の比較～

研究協力者 辻本 陽子（独立行政法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校）
糟谷 美穂（独立行政法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校）
河合友莉香（独立行政法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校）
小嶋 菜奈（独立行政法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校）
山本 佳世（独立行政法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校）
川崎 純子（独立行政法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校）
北井 英子（独立行政法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校）
渡邊 玲子（独立行政法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校）
研究分担者 松浦 賢長（福岡県立大学看護学部）
研究分担者 山縣然太朗（山梨大学医学工学総合研究部社会医学講座）

本研究では、出産前の女性たちの、妊孕力についての知識不足に着目し、年齢と妊孕力との関係について教育することと、女性の第一子出産希望年齢との関連性について検証した。研究方法は選択式質問紙法を用い、出産経験のない女子看護学生(18歳～22歳)を対象に355名に実施し、347名より有効な調査票を回収した。年齢と妊孕率の関係を表したグラフを見せた前後で、第1子出産希望年齢について変化があるかを調査した。結果としてグラフを見る前に第1子の子の出産希望年齢について「30歳までに」を選択した群で、グラフを見た後に「25歳までに」と若い年齢を選択したのが47名(22.4%)であり、グラフを見ることで第1子の子の出産希望年齢に影響を与えることが検証された。

A. 研究目的

昨今の少子化の背景には、日本人女性の晩婚化、晩産化という現状がある。晩婚化・晩産化の原因として、出産前の女性の妊孕力に対する知識不足が挙げられるのではないかと考えた。それを検証するために出産前の女性たちの意識を調査する。そして、その結果を今後の思春期性教育に活かすことで、少子化に貢献することを目的とする。

B. 研究方法

出産経験のない女子看護学生(18歳～22歳)355名を対象に、選択式質問紙調査を行い、

355名より調査票を回収した。

倫理的配慮:対象者には研究内容を説明し、協力においては拒否する権利を保護したうえで同意を得た。また、研究で得られた情報は外部にもらさないことを説明した。得た情報は研究以外では一切使用せず、研究終了後シュレッダーにかけて処分した。

C. 研究結果

有効回答は347件であった。第一子出産希望年齢についての設問に対し、グラフを見る前に「25歳までに」を選択し、グラフを見た後にも「25歳までに」を選択した人は、32.6%

(113/347), グラフを見る前に「25 歳までに」を選択し、グラフを見た後に「30 歳までに」を選択した人は、2.0%(7/347), グラフを見る前に「25 歳までに」を選択し、グラフを見た後に「35 歳までに」を選択した人は、0.3%(1/347)であった。グラフを見る前に「30 歳までに」を選択し、グラフを見た後に「25 歳までに」を選択した人は、13.5%(47/347), グラフを見る前に「30 歳までに」を選択し、グラフを見た後にも「30 歳までに」を選択した人は、46.1%(160/347), グラフを見る前に「30 歳までに」を選択し、グラフを見た後に「35 歳までに」を選択した人は、0.9%(3/347)であった。グラフを見る前に「35 歳までに」を選択し、グラフを見た後に「30 歳までに」を選択した人は、0.3%(1/347), グラフを見る前に「35 歳までに」を選択し、グラフを見た後にも「35 歳までに」を選択した人は、2.6%(9/347)であった。

D. 考察

第 1 子の出産希望年齢について「30 歳までに」を選択した群で、グラフを見た後に「25 歳までに」を選択する者が多かった。グラフを見たことで年齢の上昇に伴う妊孕力の低下を視覚的に捉えることができ、各人の出産したい年齢の意識に影響を与えたことが原因であると考えられる。

逆に、第 1 子の出産希望年齢について「25 歳までに」を選択した群では、グラフを見た後で「30 歳までに」または「35 歳までに」と第 1 子の出産希望年齢が上昇する結果もみられた。これは、35 歳過ぎから不妊症が増加することや、35 歳までは妊孕力が 5 割を超えていることをグラフから読み取り、35 歳までは妊孕力に余裕があると解釈したことが原因であると考えられる。

これらの考察から、少子化対策を見据えた思春期性教育として、妊孕力グラフを見せるだけでなく、妊孕力の低下や不妊率の上昇の原因についても合わせて説明し、妊孕力についての正しい理解を促していく必要があると考える。

E. 結論

今回の研究を通して、年齢と妊孕力についての関係を知ることで、女性の出産希望年齢が低下するということが明らかとなった。

今日の本邦の思春期性教育では、年齢と妊孕力の関係についての説明が不十分であり、そのことが晩婚化・晩産化、少子化の要因のひとつであると考えられる。この結果を受けて、少子化対策を見据えた思春期性教育として、妊孕力グラフを見せるだけでなく、妊孕力の低下や不妊率の上昇の原因についても合わせて説明し、妊孕力についての正しい理解を促していく必要があると考える。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表 1. 年齢と妊孕力の関係グラフを見た前後での第一子出産希望年齢の変化

グラフ見た後 グラフ見る前	1.25 歳までに	2.30 歳までに	3.35 歳までに	6.40 歳までに	総計
1. 25 歳までに	113	7	1		121
2. 30 歳までに	47	160	3		210
3. 35 歳までに		1	9		10
4. 40 歳までに			1		1
6. 考えていない	1	2	1	1	5
総計	161	170	15	1	347

資料：調査票

問1 あなたにとって将来産みたい理想的な子どもの数は何人ですか。

()人

→ 0人と答えられた方は、問3からお答えください。

問2 あなたの今後の妊娠・出産の予定に対する意識についておたずねします。

(1)何歳で1人目の子どもを産みたいと思いますか。

希望の時期について、あてはまる番号にひとつ〇をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. 25歳までに | 2. 30歳までに | 3. 35歳までに |
| 4. 40歳までに | 5. 45歳までに | 6. とくに考えていない |

(2)何歳までに最後の子どもを産み終わりたいと思いますか。

希望の時期について、あてはまる番号にひとつ〇をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. 25歳までに | 2. 30歳までに | 3. 35歳までに |
| 4. 40歳までに | 5. 45歳までに | 6. とくに考えていない |

問3

(1)女性が、最も妊娠しやすい時期は何歳だと思えますか。あてはまる番号にひとつ〇をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 20歳～25歳 | 2. 26歳～30歳 | 3. 31歳～35歳 |
| 4. 36歳～40歳 | 5. 41歳～45歳 | 6. 46歳～50歳 |

(2)妊娠しにくくなるのは、何歳からだと思えますか。あてはまる番号にひとつ〇をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 20歳～25歳 | 2. 26歳～30歳 | 3. 31歳～35歳 |
| 4. 36歳～40歳 | 5. 41歳～45歳 | 6. 46歳～50歳 |

問4

(1)あなたは今までに女性が妊娠可能な年齢についての教育を受けたことがありますか。

1. はい → 「はい」と答えられた方は、(2)もお答えください。
2. いいえ
3. わからない → 「いいえ」「わからない」と答えられた方は、次ページにお進み下さい。

(2)(1)で「はい」と答えた方にお聞きします。どこでその教育を受けられましたか。(複数回答可)

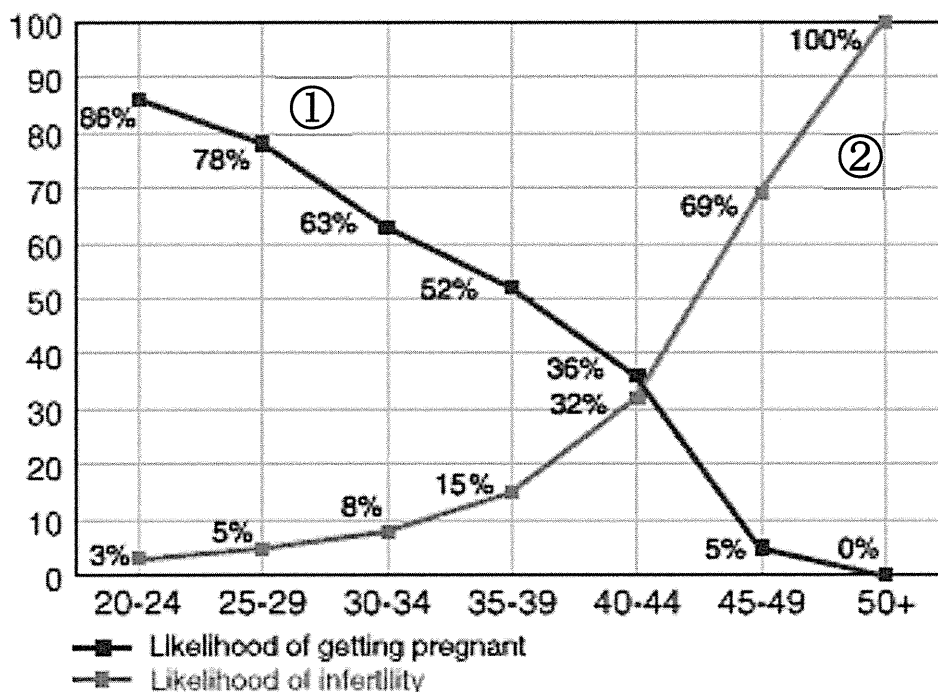
- | | | | |
|--------|----------|-----------|------------|
| 1. 小学校 | 2. 中学校 | 3. 高校 | 4. 大学()学部 |
| 5. テレビ | 6. 書籍・雑誌 | 7. その他() | |

次ページのグラフをご覧ください。

こちらのグラフをご覧ください。
このグラフは、縦軸が確率、横軸が年齢を表しています。

①の右下がりの折れ線グラフは、100組のカップルが1年間避妊せずに性生活を送った場合の、女性の年齢ごとの妊娠確率を表しています。つまり、女性の年齢が20-24歳の時、1年間避妊しないで性生活を営んだ100組のカップルの内、86組が妊娠するということです。

一方で、②の右上がりの折れ線グラフは、女性の年齢別の、不妊の人の割合を表しています。



グラフ:M. Sara Rosenthal. The Fertility Sourcebook.Third Edition.

グラフを見たうえで、もう一度おたずねします。

問5 グラフを見た後、妊娠、出産についての意識が変わったと思いますか。

1. はい 2. いいえ 3. わからない

問6 グラフを見た後の、あなたにとって将来産みたい理想的な子どもの数は何人ですか。

()人

→ 0人と答えられた方は、問8にお進みください。

問7 グラフを見た後の、あなたの今後の妊娠・出産の予定に対する意識についておたずねします。

(1)何歳で1人目の子どもを産みたいと思いますか。

希望の時期について、あてはまる番号にひとつ〇をつけてください。

1. 25歳までに 2. 30歳までに 3. 35歳までに
4. 40歳までに 5. 45歳までに 6. とくに考えていない

(2)何歳までに最後の子どもを産み終わりたいと思いますか。

希望の時期について、あてはまる番号にひとつ〇をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. 25歳までに | 2. 30歳までに | 3. 35歳までに |
| 4. 40歳までに | 5. 45歳までに | 6. とくに考えていない |

問8

(1)女性が、最も妊娠しやすい時期は何歳だと思いますか。あてはまる番号にひとつ〇をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 20歳～25歳 | 2. 26歳～30歳 | 3. 31歳～35歳 |
| 4. 36歳～40歳 | 5. 41歳～45歳 | 6. 46歳～50歳 |

(2)妊娠しにくくなるのは、何歳からだと思いますか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 20歳～25歳 | 2. 26歳～30歳 | 3. 31歳～35歳 |
| 4. 36歳～40歳 | 5. 41歳～45歳 | 6. 46歳～50歳 |

2012年度における健やか親子21公式ホームページの展開

研究分担者 薬袋 淳子 国際医療福祉大学小田原保健医療学部
研究協力者 山田 七重 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座
吉岡名保恵 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座
研究分担者 山縣然太郎 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座

本研究の一環として、2001年度より構築・運営してきた健やか親子21公式ホームページは、11年間のあゆみとして80万件を超えるアクセス数を得ている。このホームページの主な展開と、搭載している「取り組みのデータベース」「母子保健・医療情報データベースの運営状況」について2012年度の報告することを目的とした。

本ホームページは、基本的に週に1回の更新を行ない、その主な内容とアクセス数を中心に詳細を報告する。更新に伴い、各班員、また健やか親子21メーリングリスト会員に通知文を送り、情報の共有、および情報交換を行なっている。各データベースは、WEB公開された2001年4月以降、現在まで安定したアクセス数を得ている。取り組みのデータベースは、全国の事業を参照しながら事業計画を立案するためのツールとして活用されている。また、母子保健・医療情報データベースは、専門職における利用度の高いツールとして好評を得ている。

A. 研究の目的

本研究班では、健やか親子21の推進を目指した、母子保健サービス実施の情報収集と供給体制の整備のために、健やか親子21公式ホームページを構築、運営している。更新は、基本的に毎週1回行い、2001年5月に公開し、2013年4月6日現在、80万298件のアクセス数を達成している。「取り組みのデータベース」は87,905件、「母子保健・医療情報データベース」は454,953件のアクセス数を得ている。これらの詳細について報告することを目的とする。

B. 研究の方法

「健やか親子21公式ホームページ」の主な展開内容と、「取り組みのデータベース」に登録された今年度の分析結果、母子保健・医療情報データベースの運営、利用状況を把握し分析した。

1. ホームページの運営状況の把握

ホームページ管理担当者が更新の機会毎に、ホームページ内の更新履歴のページに日付、および内容を記録している。これらの記録に

より、ホームページの運営状況について把握した。更新情報は、常時、厚生労働省から発信される新着情報を把握しトピックスに掲載した。また、社会情勢からも情報を抽出し、掲載した。

2. 取り組みのデータベースに登録された内容についてのまとめ

全国自治体から提供された、取り組み事業について事業掲載数を、都道府県別、母子保健国民運動計画課題別に把握した。

3. 母子保健・医療情報データベースの運営、利用状況

母子保健・医療情報データベースは、WEB公開された2001年4月以降、現在まで11年間にわたって運営されてきた。その内訳について把握し、データベースの利用状況は、把握する一つの指標として、アクセス数を用いた。

C. 結果及び考察

1. 健やか親子21ホームページの運営状況

更新は原則として、週1回以上行った。「健やか親子21」に関連する情報として更新し、リアルタイムな情報提供ができ、アクセス数

に反映したと考える（図1・2・3）。
その主な理由を以下に示す。

- 対する救急医療体制の検討会…8、病気の子
- ① 厚生労働省、文部科学省、内閣府など省庁から出される情報のほか、マスコミで話題になった情報などについても積極的にリサーチした。
 - ② 「健やか親子21」の掲げる各課題に関連する情報を重点的に収集した。
 - ③ 特に、子どもの事故、については、人命に関わるため、厚生労働省からの情報以外に、国民生活センターや消費者庁から発表される製品のリコールなどからも最新の情報収集を心がけ、迅速に掲載した。
 - ④ 新型インフルエンザについては、混乱なく伝わるよう、ピーク時には臨時の更新をするなどして情報提供に努めた。
 - ⑤ 推進協議会参加団体の動向にも着目し、シンポジウムや研修会などの情報を積極的に収集した。

■健やか親子21公式ホームページ

2012年4月～2013年3月10日までの更新内容

<概要>

- ・ 毎週1回の更新を行った。
- ・ 厚生労働省、文部科学省、内閣府、消費者庁など省庁から出される情報、推進協議会参加団体の情報を中心とし、時事問題に取り上げられる話題からも積極的に情報収集した。
- ・ 児童生徒の自殺問題が深刻化し、自殺対策について多く取り上げた。
- ・ 登下校中の交通事故など、学校での安全対策についての情報が増えた。
- ・ 風疹の流行により、妊産婦への注意喚起を行った。
- ・ 予防接種後の死亡事故が起こり、接種の安全に関する検証などが増えた。
- ・ 機械式立体駐車場での死亡事故や、首輪型の浮き輪の窒息事故などの報道に伴い、注意喚起を促す情報を適時、掲載した。

掲載情報：合計375件

ども…3、子どもの事故…34、予防接種…8、
たばこ対策…16、その他…7

- 課題1. 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進……99件
薬物乱用15件、自殺対策14件、思春期4件、
性感染症・性教育2件
飲酒・喫煙対策5件、学校保健19件、学校での安全対策26件
早寝・早起き推進4件、その他10件
- 課題2. 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援……48件
妊娠・出産10件、職場での妊娠対策・ワークライフバランス9件
周産期医療、産婦人科医関連4件、妊産婦の健康3件、妊産婦の風疹対策11件
不妊対策4件、タバコの害・禁煙対策3件、その他4件
- 課題3. 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備 ……125件
小児保健14件、小児救急5件、小児慢性特定疾患、難病支援10件
感染症対策5件、子どもの事故防止・安全対策43件、SIDS3件
予防接種31件、アレルギー対策6件、う歯対策6件、その他2件
- 課題4. 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減……85件
児童虐待19件、児童福祉・児童相談所関連15件、育児・子育て・育児支援18件
母乳育児・赤ちゃんの栄養4件、子どものこころ3件、待機児童問題・保育所5件
食育11件、家庭教育推進・支援2件、食の安全4件、その他4件
- その他……7件
健やか親子21、推進協議会関連……11件
- 課題1. 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進

<薬物乱用>

- 2012.5.13 少年非行等の概要（平成23年1～12月）警察庁
- 2012.5.27 薬物乱用防止資料「DRUG2012」（警察庁）
- 2012.6.25 「合法ハーブ」等と称する商品に関する啓発チラシ（内閣府）
- 2012.6.25 平成24年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間」
- 2012.7.1 平成23年度「アメリカにおける青少年の薬物乱用対策に関する企画分析」報告書（内閣府）
- 2012.7.8 平成24年7月1日より新たに9物質が指定薬物に指定されました。
- 2012.8.5 薬物乱用防止啓発資料 平成24年8月3日より新たに4物質が麻薬に指定されました
- 2012.8.12 平成24年度再乱用防止対策講習会の開催について(厚生労働省)
- 2012.9.23 合法ハーブ等と称して販売される薬物に関する当面の乱用防止対策（平成24年8月30日取りまとめ）内閣府
- 2012.9.23 平成23年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果について
- 2012.9.30 麻薬・覚醒剤乱用防止運動の実施について（厚労省）
- 2012.10.14 政府広報オンライン “合法ハーブ”は危険な「違法ドラッグ」絶対に手を出さないでください！
- 2013.1.27 平成24年度薬物乱用防止広報啓発活動について(文科省)
- 2013.3.3 少年非行情勢（平成24年1～12月）（警察庁）
- 2013.3.3 3月1日より新たに6物質が麻薬に指定され、所持・使用が禁止されます

<自殺対策>

- 2012.6.10 平成24年版自殺対策白書（内閣府）
- 2012.6.25 自殺予防対策に関する行政評価・監視<結果に基づく勧告>総務省
- 2012.7.8 児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議（平成23年度）議事要旨
- 2012.7.8 児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議について(文部科学省)
- 2012.7.29 いじめ等で悩んでいるみなさんへのメッセージ（内閣府）

- 2012.7.29 インターネット上の書き込みに関する緊急メッセージ（法務省）
- 2012.7.29 いじめに関する相談窓口の広報の強化について（法務省）
- 2012.8.12 「いじめ問題に関する緊急メッセージ」について(法務省)
- 2012.9.16 「いじめ、学校安全等に関する総合的な取組方針」の策定（文部科学省）
- 2012.11.4 「子どもの自殺報道に際して配慮」の要望書
- 2012.11.18 犯罪行為として取り扱われるべきと認められるいじめ事案に関する警察への相談・通報について（文部科学省通知）
- 2012.11.25 「いじめの問題に関する児童生徒の実態把握並びに教育委員会及び学校の取組状況に係る緊急調査」結果について
- 2013.2.10 体罰禁止の徹底及び体罰に係る実態把握について（依頼）文部科学省
- 2013.2.10 第4回千葉大学ヘルス・プロモーション・スクールシンポジウム&研修会-いじめ等の現代的課題に対応するために、世界のHPSから学ぶ健康的な学校づくり-

<思春期>

- 2012.4.15 日本小児科学会主催第7回思春期医学臨床講習会（札幌）
- 2012.7.1 日本小児保健協会 平成24年度公益事業 第3回市民公開セミナー「発達障害の支援ー思春期を生きるー」（10/28京都）
- 2012.9.30 日本小児科医会 第12回 思春期の臨床講習会
- 2013.2.17 日本性教育協会 東京性教育研修セミナー2013 ～若者の性行動は今後どう変化していくのか？～

<性感染症、性教育>

- 2012.6.10 性の健康医学財団 競輪補助事業印刷物無償配布のお知らせ
- 2012.12.16 日本思春期学会 性感染症についての掲示板とアンケートのサイト公開

<飲酒・喫煙対策>

- 2012.4.29 2012年世界禁煙デーについて
- 2012.5.13 平成24年度「世界禁煙デー」ポス

ター

- 2012.6.17 日本学校保健会夏季セミナー 未成年者飲酒予防研修会～学校に求められる未成年飲酒防止教育・実態とその背景～
- 2012.8.26 平成24年度学校における受動喫煙防止対策実施状況調査について（文部科学省）
- 2012.11.4 日本学校保健会夏季セミナー 未成年者飲酒予防研修会「学校に求められる未成年飲酒防止教育・実態とその背景」記録集 無料頒布のお知らせ

<学校保健>

- 2012.4.1 学校における結核対策マニュアル
- 2012.4.29 第9回薬害を学び再発を防止するための教育に関する検討会議事録
- 2012.5.20 日本学校保健会発行「学校保健の課題とその対応」「養護教諭の職務等に関する調査」附属資料
- 2012.7.1 日本学校保健会 平成24年度エイズ教育推進ポスターコンクール
- 2012.8.12 児童・生徒のための救命手当短時間プログラム(日本赤十字社)
- 2012.9.16 第10回薬害を学び再発を防止するための教育に関する検討会議事録
- 2012.9.30 日本小児科学会 学校、幼稚園、保育所において予防すべき感染症の解説 改訂版
- 2012.10.21 障害のある幼児児童生徒の給食その他の摂食を伴う指導に当たっての安全確保について（通知）文部科学省
- 2012.10.21 学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応について（文部科学省）
- 2012.11.11 日本学校保健会「平成23年度 学校保健委員会の設置状況」を更新
- 2012.11.25 学校保健ポータルサイト 特集：養護教諭のお仕事「第10回 児童生徒の保健委員会活動事例」
- 2012.11.25 日本学校保健会 平成24年度文部科学省補助事業「喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料」研修会 実施要領
- 2012.12.16 今後の健康診断の在り方等に関する検討会（第4回） 配付資料(文科省)
- 2012.12.16 今後の健康診断の在り方等に関する検討会（第3回） 議事録（文科省）
- 2012.12.16 通常の学級に在籍する発達障害の

可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について

- 2012.12.23 平成24年度学校基本調査（確定値）の公表について（文科省）
- 2013.1.6 日本学校保健会「自信をもって取り組める医薬品の教育一小・中・高等学校での実践事例集」
- 2013.1.13 健康教育推進学校：表彰式&実践事例発表会（被災地支援事業）／公益財団法人日本学校保健会 事業報告会
- 2013.2.23 今後の健康診断の在り方等に関する検討会「学校病」に関するワーキンググループ（第2回）配付資料（文科省）

<学校での安全対策>

- 2012.4.1 学校安全の推進に関する計画の策定について（答申）文部科学省
- 2012.4.1 学校安全部会（第7回） 配付資料
- 2012.4.1 学校安全部会（第8回） 配付資料文部科学省
- 2012.4.1 学校安全部会（第9回） 配付資料文部科学省
- 2012.4.29 津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」の制作（気象庁）
- 2012.4.29 学校の通学路の安全に関する文部科学大臣緊急メッセージ
- 2012.5.27 学校安全Web 学校における固定遊具による事故防止対策 調査研究報告書
- 2012.6.3 学校安全Web教材カード「熱中症を予防しよう」
- 2012.6.10 日本赤十字社など「学校での心肺蘇生教育の普及に向けての提言」
- 2012.6.25 学校安全Web 教材カード「プール事故を起こさないために！」
- 2012.7.15 日本スポーツ振興センター 【広島もみじ通信】第47号 転落事故防止のための取組について
- 2012.7.15 日本スポーツ振興センター 【Web杜のたより】第25号 学校の管理下における転落事故の防止について
- 2012.7.22 文科省 通学路の交通安全の確保に関する有識者懇談会（第1回） 配付資料／議事要旨
- 2012.8.5 学校における体育活動中の事故防止について（報告書）文科省

- 2012.8.5 体育活動中の事故防止に関する調査研究における海外調査（報告書）文科
- 2012.8.12 日本スポーツ振興センター 平成23年度 学校給食における食の安全に関する実態調査報告書
- 2012.8.12 「通学路の交通安全の確保に関する有識者懇談会」意見とりまとめ（文部科学省）
- 2012.9.9 「学校施設における天井等落下防止対策の推進に向けて（中間まとめ）」の取りまとめについて(文科省)
- 2012.9.16 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議（第12回）・老朽化対策検討特別部会（第5回）合同会議 配付資料
- 2012.9.23 学校安全Web 教材カード「運動会でのけがに注意」
- 2012.10.28 学校安全Web 【教材カード10月号】「遊具の安全～すべり台編～」を掲載
- 2013.1.6 学校安全Web 教材カード「ゴールポストの事故」
- 2013.2.10 日本スポーツ振興センター新刊『学校の管理下の災害-25 -基本統計-』
- 2013.2.10 日本スポーツ振興センター新刊『学校の管理下の死亡・障害事例と事故防止の留意点<平成24年版>』
- 2013.2.17 日本スポーツ振興センター 学校事故事例検索データベースに平成23年度分の情報を追加しました
- 2013.2.17 日本スポーツ振興センター 学校安全Web 【教材カード2月号】「遊具の安全～鉄棒編～」を掲載

<早寝・早起き推進>

- 2012.5.20 文部科学省、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会、Jリーグ制作 リーフレット「できることから、始めてみよう！」
 - 2012.7.1 子どもの早起きをすすめる会 2012年シンポジウム「日本の大人たちに笑顔と眠りを取り戻すために～本気で変えよう、大人の眠りと生活時間～」
 - 2012.9.2 パンフレット「企業と家庭で取り組む早寝早起き朝ごはん」の作成について
 - 2013.2.23 優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰について
- <その他>
- 2012.6.10 平成24年版子ども・若者白書（旧青

少年白書)

- 2012.9.2 平成24年度学校基本調査速報の公表について
- 2012.9.9 夏季休業が終了した時期における児童生徒への適切な対応について（依頼）文部科学省
- 2012.9.16 平成24年度「地域とともにある学校づくり」推進協議会 実施報告（文部科学省）
- 2012.9.16 学校体育実技指導資料第7集「体づくり運動」（改訂版）
- 2012.9.16 生徒指導・進路指導総合推進事業の参考事例（文部科学省）
- 2012.10.14 平成23年度体力・運動能力調査結果について（文部科学省）
- 2012.10.14 平成24年度「子ども・若者育成支援強調月間」（内閣府）
- 2012.11.25 平成24年度「地域とともにある学校づくり」推進協議会（鹿児島会場） 実施報告
- 2012.12.2 放課後児童健全育成事業について

課題2. 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援

<妊娠・出産>

- 2012.4.15 日本母乳哺育学会主催 カンガルーケア勉強会
- 2012.7.8 「早期母子接触に際しての注意事項について」（日本助産師会）
- 2012.8.5 母子の早期皮膚接触(earlyskintototalskincontact;STS)についての日本母乳の会の見解
- 2012.10.14 日本家族計画協会 冊子「妊娠中から考える、お産の後のあなたと赤ちゃんの健康」配布受付開始
- 2012.10.28 「早期母子接触」実施の留意点についての共同提言
- 2012.11.4 日本産科婦人科学会・公開シンポジウム「出生前診断—母体血を用いた出生前遺伝学的検査を考える」開催のお知らせ
- 2012.12.9 マタニティマークに関する取組の状況調査の結果について
- 2013.2.3 厚生労働省委託母性健康管理サイト妊娠・出産をサポートする女性にやさしい職場づくりナビ
- 2013.2.3 日本産婦人科医会 院内助産におけ

る助産師の業務範囲の留意点について

●2013.3.10 国民生活センター 経口妊娠中絶薬の安易な個人輸入や使用は危険！

<職場での妊娠対策、ワークライフバランス>

●2012.5.27 日本歯科医師会 母子健康手帳の交付・活用の手引き

●2012.5.13 母性保護のための「女性労働基準規則」を改正～生殖機能などに有害な物質が発散する場所での女性の就業を禁止、平成24年10月施行～

●2012.7.8 仕事と家庭の両立支援制度についてのページを開設（厚生労働省）

●2012.7.8 人事院 育児・介護のための両立支援ハンドブック

●2012.7.15 「平成23年版 働く女性の実情」について

●2012.11.11 平成23年度「職場の子育て応援プログラム」（特定事業主行動計画）実施状況の公表について

●2013.2.17 政府広報オンライン 特集 ワークライフバランス

●2013.3.3 女性にやさしい職場づくりナビ 小売業で働くみなさまへ

●2013.3.10 パンフレット：パート・派遣社員のあなたもとれる！産前・産後休業 育児休業

<周産期医療、産婦人科医関連>

●2012.4.8 女性医師離職防止・復職支援について

●2012.4.15 「産婦人科診療ガイドラインー産科編2011」（日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会）

●2012.11.25 日本産婦人科医会 産婦人科勤務医の待遇改善と女性医師の就労環境に関するアンケート調査報告2012

●2012.12.16 平成25年度医学部入学定員の増員計画について(文科省)

<妊産婦の健康>

●2012.10.7 女性健康支援センター事業の概要（厚生労働省）

●2013.1.20 産科医療補償制度 妊産婦の皆様へ常位胎盤早期剥離ってなに？

●2013.2.17 女性の健康週間（3/1～3/8）日本産

科婦人科学会・日本産婦人科医会

<妊産婦の風疹対策>

●2012.6.3 風しん患者の地域的な増加について（厚生労働省）

●2012.6.10 風疹Q&A（2012年改訂）国立感染症研究所

●2012.7.15 風疹の患者数が増加しています（国立感染症研究所）

●2012.7.22 日本産婦人科医会 風疹の流行について

●2013.2.3 日本産科婦人科学会 「先天性風しん症候群の発生予防等を含む風しん対策の一層の徹底について」

●2013.2.3 厚生労働省通知「先天性風しん症候群の発生予防等を含む風しん対策の一層の徹底について」

●2013.2.3 日本産婦人科医会 風疹流行に伴う緊急通知について

●2013.2.23 風しんについて（厚生労働省）

●2013.3.3 風しんの報告数が急増しています。～首都圏の報告数が特に多くなっています。～

●2013.3.3 日本産婦人科医会 「先天性風しん症候群の発生予防等を含む風しん対策の一層の徹底について（情報提供及び依頼）」の一部改正について

●2013.3.10 風しんについて（啓発ツール（ポスター））

<不妊対策>

●2012.10.7 反復・習慣流産（いわゆる「不育症」）について(厚生労働省)

●2012.10.7 不妊専門相談センター事業の概要(厚生労働省)

●2012.12.2 不妊に悩む方への特定治療支援事業指定医療機関一覧

●2013.2.10 恩賜財団母子愛育会「母子保健情報第66号」特集：不妊症治療ー現状の課題と将来への展望ー

<タバコの害、禁煙対策>

●2012.6.3 受動喫煙防止対策に係る各種支援事業（厚生労働省）

●2012.10.7 日本公衆衛生学会 日本公衆衛生雑誌 第59巻第8号掲載「妊娠中の喫煙が子どもの

肥満に及ぼす影響の生存時間解析による検討」
(鈴木孝太,他)

- 2012.11.4 受動喫煙防止対策の徹底について
(厚生労働省通知)

<その他>

- 2012.9.2 (社)母子保健推進会議「1歳6か月児健診時配布教材セット、リニューアル」
- 2012.9.9 平成23年人口動態統計(確定数)の概況(厚労省)
- 2012.9.9 平成23年度全国母子世帯等調査の結果(厚労省)
- 2012.10.21 性の健康医学財団 市民公開講座「いのちを大切に～みんなで知ろう子宮がんのこと」

課題3. 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備

<小児保健>

- 2012.4.8 子どもの死に関する我が国の情報収集システムの確立に向けた提言書(日本小児科学会小児死亡登録・検証委員会)
- 2012.4.22 日本未熟児新生児学会・新生児医療連絡会 災害時の新生児医療体制復旧手順
- 2012.6.3 白クマ先生の子ども診療所(日本医師会HP)更新
- 2012.6.3 歯科診療時等において使用される手指用保護具(口腔用)の事故等に係る医療機関並びに介護保険施設等及び障害者支援施設等の施設管理者に対する注意喚起について
- 2012.7.8 日本赤十字社 「日赤×コープ」で「子どもの命を守るワークショップ」全国展開中
- 2012.7.15 特別支援学校における介護職員等によるたんの吸引等(特定の者対象)研修テキスト
- 2012.9.9 こどもの城 小児保健クリニック講習会「遊び」から理解する子どものこころの発達
- 2012.9.9 こどもの城 小児保健クリニック講習会～多様化する親子へのかかわり方～
- 2012.11.11 こどもの城 小児保健クリニック講習会 第19回心とからだの健康0.1.2歳児～小児保健の基礎と実際～
- 2012.11.18 日本小児科医会 小児保健法のポスターができました

- 2012.11.25 恩賜財団母子愛育会 小児保健医療のトピックス研修会

- 2012.12.9 平成23年国民健康・栄養調査結果の概要

- 2012.12.16 小児と薬情報収集ネットワーク事業小児と薬情報収集システム検討会の設置について

- 2013.1.6 日本小児科学会総合小児医療検討委員会報告:“地域総合小児医療”に関するアンケート調査

<小児救急>

- 2012.4.29 平成24年度日本小児保健協会小児救急電話相談スキルアップ研修会

- 2012.4.29 小児救急医療電話相談事業(#8000)について

- 2012.5.27 日本女医会「どうしよう子どもの救急」英語版が発行されました

- 2012.9.23 平成24年8月の熱中症による救急搬送の状況(消防庁)

- 2012.10.21 第26回日本小児救急医学会・区民公開講座「小児救急—その予防から蘇生まで—」開催レポート

<小児慢性特定疾患、難病支援>

- 2012.6.3 難病のこども支援全国ネットワーク「サマーキャンプ”がんばれ共和国”～友だちつくろう」参加者募集

- 2012.6.17 医療的ケアを必要とする子どもへの支援における特別支援学校等での看護師のあり方について(日本小児看護学会)

- 2012.8.12 重篤な疾患を持つ子どもの医療をめぐる話し合いのガイドライン(日本小児科学会)

- 2012.10.21 第1回小児慢性特定疾患児への支援の在り方に関する専門委員会

- 2012.11.11 難病のこども支援全国ネットワーク病弱教育セミナー2013

- 2012.12.2 第4回小児慢性特定疾患児への支援の在り方に関する専門委員会

- 2013.1.20 第4回小児慢性特定疾患児への支援の在り方に関する専門委員会

- 2013.1.20 第3回小児慢性特定疾患児への支援の在り方に関する専門委員会

- 2013.2.3 「小児慢性特定疾患児への支援の在り方に関する専門委員会」(中間報告)

- 2013.2.10 小児がん拠点病院の指定について
(厚生労働省)

<感染症対策>

- 2012.9.9 国立感染症研究所 注目すべき感染症 ◆RSウイルス感染症
- 2012.10.7 マイコプラズマ肺炎に関するQ&A
(厚生労働省)
- 2012.11.18 感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの予防啓発について
- 2012.12.2 ノロウイルスによる食中毒や感染に注意～感染性胃腸炎の患者数は、過去10年の同時期で2番目に多い水準～
- 2012.12.2 感染性胃腸炎の流行状況を踏まえたノロウイルスの一層の予防の啓発について(平成24年11月27日事務連絡)

<子どもの事故防止、安全対策>

- 2012.4.8 ペダルなし二輪遊具の事故防止について(注意喚起)
- 2012.4.8 日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会InjuryAlert(傷害注意速報)遊具からの転落による大腿骨折
- 2012.4.15 キッズデザイン協議会 キッズデザイン講演会2012「子どもの創造性育成とキッズデザイン」
- 2012.4.22 国民生活センター 首が締め付けられて痛い子ども用の冷感ベルト
- 2012.4.22 5月21日の日食を安全に観察するために(日本天文協議会、日本眼科学会、日本眼科医会)
- 2012.4.29 「子どもの命を守るために 必ず使おう!!チャイルドシート」(日本小児保健協会など)
- 2012.5.13 消費者庁 機械式立体駐車場での事故にご注意ください!
- 2012.5.27 立体駐車場工業会 安全利用パンフレット「ちゅうしゃじょうのまわりはきけんがいっぱい」
- 2012.6.17 子どもの事故防止ノート(日本小児看護学会 健やか親子21推進事業委員会)
- 2012.7.1 消費者庁 食べ物による窒息事故にご注意ください!
- 2012.7.15 政府広報オンライン 熱中症は予防が大事!「高温注意情報」や「暑さ指数」の情報

を活用し、十分な対策をとりましょう

- 2012.7.22 危険学プロジェクト「子どものための危険学」
- 2012.7.22 日本小児科学会 InjuryAlert(傷害注意速報)が更新されました
- 2012.7.22 消費者庁「子どもを事故から守る!」シンポジウム開催報告
- 2012.7.29 首掛式の乳幼児用浮き輪を使用する際の注意について(国民生活センター)
- 2012.7.29 東京消防庁 乳幼児の溺れや窒息に注意!～首輪型の浮き輪で救急搬送される事故が発生しています～
- 2012.7.29 首掛式の乳幼児用浮き輪を使用する際の注意について(消費者庁)
- 2012.7.29 立体駐車場工業会『機械式立体駐車場内の無人確認を徹底してください』
- 2012.8.12 キッズデザイン協議会 平成23年度キッズデザイン製品開発支援事業 基盤整備プロジェクトの成果報告
- 2012.9.2 東京都生活文化局消費生活部生活安全課 家庭用ビニールプールで「おぼれ事故」に注意しましょう!
- 2012.9.16 チャイルドシートの肩ベルトの調整を忘れずに!～お子様がチャイルドシートから抜け出し、チャイルドシートの肩ベルトが首にかかって負傷する事故が発生しました～(国土交通省)
- 2012.8.26 子どもの窒息事故にご注意ください!(消費者庁)
- 2012.8.26 機械式立体駐車場の安全対策の強化について
- 2012.8.26 機械式立体駐車場での事故にご注意ください!(再周知)
- 2012.9.23 日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会InjuryAlert(傷害速報) Follow-up 報告 No.3
- 2012.10.14 日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会 InjuryAlert(傷害速報) 歯ブラシによる刺傷
- 2012.10.14 日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会 InjuryAlert(傷害速報) 鉄板による熱傷
- 2012.10.21 「キッズデザインガイドライン消費者との意見交換会」開催のご報告(キッズデザイン協議会)

●2012.10.21 日本小児看護学会 子どもの事故防止ノート改訂

●2012.11.4 国民生活センター「キックスケーターの前輪が取れて子供がけが」

●2012.11.11 キッズデザイン製品開発ワークショップ「ものづくりイノベーション'キッズデザイン' ～もしもそこに子どもがいたら?! ～」

●2012.12.2 電気ケトルの転倒等による乳幼児の熱傷事故にご注意ください(消費者庁、国民生活センター)

●2012.12.16 日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会「カーテンの留め紐による縊頸」

●2013.1.6 消費者庁「屋内アミューズメント遊具での思わぬケガにご注意！」

●2013.1.13 鹿児島県「くらしの中で起こる事故から子どもを守るセミナー」

●2013.1.13 日本小児科学会 InjuryAlert更新

●2013.1.20 全国訪問看護事業協会HP掲載 厚労省通知 医薬品等の誤飲防止対策の徹底について

●2013.1.27 「子どもを事故から守る!プロジェクト」シンボルキャラクター&テーマソングの公表(消費者庁)

●2013.1.27 日本小児科学会 InjuryAlert(傷害速報) オートバイによる頭部外傷

●2013.1.27 消費者庁リコール情報「ベビーチェア:バンボベビーソファ」専用腰ベルト無料配布について

●2013.2.23 消費者庁 次亜塩素酸ナトリウムを含むとの表示がある「ウイルスプロテクター」について(使用中止及び自主回収のお知らせ)

●2013.2.23 子ども用の花粉防御用眼鏡による顔のけがに注意(国民生活センター)

●2013.3.3 ゆたんぼでの低温やけどを防ぎましょう(消費者庁)

<SIDS>

●2012.10.28 乳幼児突然死症候群(SIDS)診断ガイドライン(第2版)について

●2012.10.28 11月は「乳幼児突然死症候群(SIDS)」の対策強化月間です

●2013.1.13 日本小児救急医学会 SIDS/SUID症例登録への御協力願ひ

<予防接種>

●2012.4.15 第9回麻しん対策推進会議

●2012.4.22 第3回不活化ポリオワクチンの円滑な導入に関する検討会

●2012.4.22 4月21日から4月28日は「世界予防接種週間」です

●2012.4.29 第3回不活化ポリオワクチンの円滑な導入に関する検討会資料

●2012.5.13 ポリオワクチンリーフレット改訂版

●2012.5.20 ポリオワクチンに関するQ&A(平成24年5月18日版)

●2012.5.27 日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール

●2012.6.17 ポリオ予防接種予診票様式

●2012.6.10 不活化ポリオ自治体担当者会議資料

●2012.9.30 母子衛生研究会 母子保健指導者対象セミナー「子どもの感染症と予防接種の理解」

●2012.9.30 日本女医会「子どもの予防接種」について

●2012.10.7 平成23年度麻しん風しん予防接種(第1期～第4期)実施状況(2012年3月31日現在)

●2012.10.7 <通知>定期(一類疾病)の予防接種実施要領

●2012.11.4 平成24年度春急性灰白髄炎(ポリオ)予防接種率の調査結果まとめ

●2012.11.18 日本脳炎ワクチン接種に係るQ&A(厚生労働省)

●2012.11.18 予防接種健康被害救済制度について(厚生労働省)

●2012.12.2 ワクチン接種と乳幼児の突然死に関する疫学調査を実施します

●2012.12.9 予防接種後健康状況調査集計報告書平成23年度前期分

●2012.12.9 予防接種後健康状況調査集計報告書平成23年度後期分および累計分

●2012.12.9 予防接種後副反応報告書集計報告書平成23年度分

●2012.12.16 第7回感染症分科会予防接種部会日本脳炎に関する小委員会 議事録

●2012.12.16 日本脳炎ワクチン接種に係るQ&A(平成24年11月改訂版)

●2012.12.23 日本医師会市民公開講座「子どもを感染症から守る!予防接種の最新情報

●2013.1.20 ワクチン接種と乳幼児の突然死に関

する疫学調査評価検討会(1/31)の開催について

- 2013.1.20 平成24年度「子ども予防接種週間」の実施について
- 2013.1.20 希望するすべてのひとに予防接種を！署名活動にご協力ください（日本医師会）
- 2013.2.3 日本児童青年精神医学会 児童・青年期における向精神薬の併用に関する注意喚起
- 2013.2.23 第1回ワクチン接種と乳幼児の突然死に関する疫学調査評価検討会議事録
- 2013.2.23 第1回ワクチン接種と乳幼児の突然死に関する疫学調査評価検討会 資料
- 2013.3.3 平成24年度9月末中間評価 麻しん・風しん含有ワクチン接種率
- 2013.3.10 平成24年度麻しん風しん予防接種（第2期～第4期）実施状況（2012年12月31日現在）

<アレルギー対策>

- 2012.8.5 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン更新
- 2012.11.25 (株)ファイザー 小学生の母親を対象とした「食物アレルギー」認識調査
- 2013.1.13 アレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」食物アレルギー理解のための紙芝居、DVDパンフレット
- 2013.1.20 学校給食における食物アレルギー等を有する児童生徒等への対応等について
- 2013.1.27 NPO法人アレルギー児を支える全国ネット アラジーポット 食物アレルギー新入園入学マニュアルのダウンロード
- 2013.3.10 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン Q&A

<う歯対策>

- 2012.4.22 日本小児歯科学会 小児科と小児歯科の保健検討委員会 「子どもの間食」に関する考え方
- 2012.7.1 日本歯科医師会 8020日歯TVに「子どもへの虐待～歯科医師の役割～」
- 2012.7.1 日本歯科医師会 8020日歯TV「基本的な歯の磨き方～知っておきたい！乳歯の歯磨き～」
- 2012.9.2 日本歯科医師会 8020日歯TV「基本的な歯の磨き方～6歳臼歯をむし歯にしない～」
- 2012.9.23 8020 日歯TV「基本的な歯の磨き

方～10代になったら歯肉炎対策！～」(日本歯科医師会)

- 2013.2.17 日本小児歯科学会 学術委員会企画 テーブルセミナー テーマ3女性小児歯科医委員会企画～テーブル2 親の気持ちのわかる歯科医になろう～

<その他>

- 2012.9.16 「薬と健康の週間」の実施について（各都道府県で行われる啓発イベント）厚生労働省
- 2012.9.30 母子衛生研究会母子保健セミナー案内

課題4. 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減

<児童虐待>

- 2012.4.1 医療ネグレクトにより児童の生命・身体に重大な影響がある場合の対応について（平成24年3月9日雇児総発0309第2号）
- 2012.4.15 児童虐待の防止等に関する政策評価（総務省統一性・総合性確保評価）について（平成24年2月23日雇児総発0223第1号、雇児保発0223第1号）
- 2012.5.20 日本歯科医師会 8020日歯TVに「子どもへの虐待～歯科医師の役割～」を掲載
- 2012.5.20 平成24年度「児童虐待防止推進月間」の標語を募集します期間は本日から6月20日（水）まで
- 2012.6.17 日本医師会 平成24年度 Ai学術シンポジウム～児童虐待の見逃し防止に果たすAiの役割。
- 2012.6.17 日本医師会 子育て支援フォーラム in岩手のご案内～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～
- 2012.7.29 子ども虐待による死亡事例等の検証結果（第8次報告の概要）及び児童虐待相談対応件数等
- 2012.7.29 子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第8次報告）（社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会）
- 2012.8.26 第10回子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会「守ろう子どもの命と心 広げよう

子ども虐待防止オレンジリボン運動」～わたしたちにできることがある～

- 2012.9.16 子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（厚生労働省）
- 2012.10.7 「子どもの虐待防止推進全国フォーラムinほっかいどう」
- 2012.10.21 児童虐待防止協会 子どもの虐待ホットライン 集中電話相談
- 2012.11.4 11月は児童虐待防止月間です
- 2012.11.18 政府インターネットテレビ「みんなで守ろう子どもたち～もしかしてと思ったらすぐ相談 児童虐待から子どもを守る」
- 2012.11.18 政府インターネットテレビ「みんなで守ろう子どもたち～子育てで1人で悩まずまず相談児童虐待から子どもを守る」
- 2012.11.18 東日本大震災から間もなく2年被災した子どものケアと災害を背景に発生する子ども虐待について～親と子への支援、「プレイメーカー・プロジェクト」実践報告～
- 2012.12.16 『「要保護児童対策地域協議会（子どもを守る地域ネットワーク）」の実践事例集』を作成～効果的な取り組みをしている地方自治体の事例を全国へ紹介～
- 2013.2.17 日本医師会など主催 子育て支援フォーラムin新潟～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して（3/23）
- 2013.3.10 警察庁 児童虐待及び福祉犯の検挙状況等（平成24年1月～12月）

<児童福祉、児童相談所関連>

- 2012.4.1 第14回社会保障審議会児童部会社会的養護専門委員会資料
- 2012.4.1 「児童相談所長又は施設長等による監護措置と親権者等との関係に関するガイドライン」について（平成24年3月9日雇児総発0309第1号）
- 2012.4.15 「児童福祉法施行令の一部を改正する政令」の施行について（平成24年3月14日雇児総発0314第1号）
- 2012.4.15 児童相談所及び市町村の職員研修の充実について（平成24年2月23日雇児総発0223第2号）
- 2012.4.15 児童福祉法第47条第5項に基づき児童福祉施設の長等が緊急措置をとった場合の都道府県知事又は市町村長に対する報告について（平

成24年3月27日雇児総発0327第1号、雇児福発0327第2号、雇児保発0327第1号、雇児母発0327第1号、障障発0327第1号）

- 2012.4.22 平成24年度児童福祉週間について
- 2012.8.5 平成21年地域児童福祉事業等調査結果の概況
- 2012.8.26 平成25年度「児童福祉週間」の標語募集について
- 2012.6.25 児童福祉法等の改正による教育と福祉の連携の一層の推進について
- 2012.11.11 措置解除等に伴い家庭復帰した児童の安全確保の徹底について（平成24年11月1日雇児総発1101第3号）
- 2012.12.9 社会的養護の課題と将来像の取組状況（平成24年11月版）
- 2012.12.9 社会的養護の現状について（平成24年11月版）
- 2012.12.9 養育支援を特に必要とする家庭の把握及び支援について（平成24年11月30日雇児総発1130第1号、雇児母発1130第1号）
- 2013.1.6 市区町村の児童家庭相談業務の実施状況等の調査結果を公表します（平成23年度調査）
- 2013.1.20 平成25年度「児童福祉週間」の標語が決定しました

<育児・子育て、育児支援>

- 2012.5.27 赤ちゃん&子育てインフォ 赤ちゃん期のコミュニケーション"毎日の生活"がことばを育む
- 2012.6.3 都市と地方における子育て環境に関する調査報告書（内閣府）
- 2012.6.10 平成24年版子ども・子育て白書（旧少子化社会白書）
- 2012.7.15 赤ちゃん&子育てインフォ改訂版「子育てのための生活安全講座」
- 2012.9.23 総合的な子ども・子育て支援のための組織の在り方検討会議（内閣官房）
- 2012.10.14 平成24年度子ども・子育て支援「家族の日」フォーラムの開催について（内閣府）
- 2012.11.25 第2回子育てセミナーin青森（12/23、青森県藤崎町）
- 2012.11.18 平成24年度家族の日、家族の週間（内閣府）

- 2012.12.2 児童館について
- 2012.12.23 展示会「子どもの健やかな成長のために2012—厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財（出版物）の紹介」
- 2012.12.23 平成24年度「楽しい子育て全国キャンペーン」～親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール～三行詩優秀作品の選定について
- 2012.12.23 平成24年度厚生労働科学研究成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業講演会「健やかな子育て環境をめざして」
- 2013.1.6 子供未来とうきょうメッセ2013(1/26、東京)
- 2013.1.13 全国社会福祉協議会「子ども・子育て全国フォーラム 健やかな子育て・子育ちをはぐくむ社会づくり
- 2013.1.27 リーフレット「おしえて！子ども・子育て支援新制度」（内閣府）
- 2013.1.27 内閣府：子ども・子育て支援新制度フォーラム（3月10日（日）、入場無料）参加者募集中
- 2013.2.10 やまがたイクメン応援サイト 建国宣言！やまがたイクメン共和国講演会
- 2013.3.10 全国保育サービス協会 平成23年度実態調査報告書 ベビーシッターに関するデータ

<母乳育児、赤ちゃんの栄養>

- 2012.7.8 NPO法人日本ラクテーション・コンサルタント協会 第8回医師のための母乳育児支援セミナーin名古屋
- 2012.9.2 日本新生児看護学会 NICUに入院した新生児のための母乳育児支援セミナー
- 2012.9.2 日本母乳の会第5回母乳育児支援研修会母乳育児の第一歩から「赤ちゃんにやさしい病院」認定へー母乳育児成功のための10カ条の日本の実践を学ぶー
- 2012.9.30 日本小児科学会 特殊ミルク安定供給のためのワークショップ

<子どものこころ>

- 2012.8.26 愛育ねっと学会報告 「一般財団法人 日本健康・栄養システム学会 特別研修会子どもの栄養・ケア・マネジメント研修会ー子どもの心とからだの育ちの理解から栄養管理の展開へー」
- 2012.10.28 FOURWINDS乳幼児精神保健学会

第15回学術集会兵庫大会IN加古川(2012.11.23～24)

- 2012.11.25 慢性疾患をもつ子どもの“うつ”へのケア～メンタルケアモデル開発ナショナルプロジェクト小児慢性疾患のうつのメンタルケアモデル研修会～

<待機児童問題、保育所など>

- 2012.5.20 保育21世紀セミナー2012～保育の質を高める研修会～
- 2012.8.5 日本小児科学会主催 第4回園医・看護職・保育士のための研修会(9/30、名古屋)
- 2012.10.28 平成22年 地域児童福祉事業等調査の結果～認可外保育施設利用世帯の状況（平成23年2月実施）～
- 2012.11.11 全国の保育所実態調査報告書2011（全国保育協議会）
- 2012.12.9 2012年改訂版 保育所における感染症対策ガイドライン

<食育>

- 2012.5.20 日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会 共催 第6回子どもの食育を考えるフォーラム 報告
- 2012.6.3 できることから始めよう！「食育ガイド」（内閣府）
- 2012.6.3 平成24年版食育白書を公表しました
- 2012.6.25 平成24年度全国保育士会食育推進研修会
- 2012.9.16 栄養教諭を中核とした食育推進事業事業結果報告書（平成23年度）
- 2012.9.23 平成24年度食育月間の取組を掲載しました（内閣府）
- 2012.10.28 文部科学省食育プロジェクトとドラマ『PRICELESS』がタイアップ～食べるが、価値（かち）～
- 2012.11.4 日本保育園保健協議会【新刊情報】「保育保健における食育実践の手引き2012」
- 2012.12.2 文部科学省 食育特設サイトの開設
- 2012.12.23 第7回子どもの食育を考えるフォーラム～子どもの食の安全：大災害・放射線汚染のその後～
- 2013.1.27 文部科学省広報企画イベント平成24年度学校給食週間～「食育と学校給食展」&「学校給食フェア」～

<家庭教育推進・支援>

- 2012.4.8 家庭教育支援の推進に関する検討委員会（第9回）議事概要
- 2012.7.15 平成23年度「家庭教育支援の効果に関する調査研究」報告書

<食の安全>

- 2012.4.1 食品中の放射性物質の検査結果について（第352報）（東京電力福島原子力発電所事故関連）
- 2012.8.5 愛育ねっと 保育・養育そだん室第53回よくある質問（24）：夏一日持ち歩いたペットボトルの残りを夕方飲むのは？
- 2012.8.12 計画停電に伴う水の汲み置きについて（日本小児科学会）
- 2012.8.26 厚生労働省 食べものと放射性物質のはなし

<その他>

- 2012.4.1 「楽しい子育て全国キャンペーン」～親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール～三行詩優秀作品集
- 2012.4.1 第9回21世紀成年者縦断調査（国民の生活に関する継続調査）の概況
- 2012.7.1 「楽しい子育て全国キャンペーン」～親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール～三行詩募集について（文部科学省）
- 2012.10.7 第10回21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）の結果

その他

- 2012.4.1 保健師活動領域調査
- 2012.5.13 幼児期運動指針について（文部科学省）
- 2012.7.22 子どもの体力向上のための取組ハンドブック（文部科学省）
- 2012.5.13 平成23年度厚生統計要覧
- 2012.8.26 平成25年度「児童福祉週間」の標語募集について
- 2013.1.20 平成25年度「児童福祉週間」の標語が決定しました
- 2013.2.23 平成24年度保健師活動領域調査の概況

健やか親子21、推進協議会関連

- 2012.6.17 社団法人全国ベビーシッター協会は、「公益社団法人全国保育サービス協会」に変わりました
- 2012.6.25 健やか親子21取り組みのデータベース登録・修正に際してのご案内
- 2012.7.15 平成25年度から平成34年度までの「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動（健康日本21第2次）」について
- 2012.7.22 日本小児看護学会のHPがリニューアルしました
- 2012.9.2 平成24年度健やか親子21全国大会のお知らせ
- 2012.9.30 国立総合児童センター「こどもの城」の閉館について
- 2012.10.7 日本産婦人科医会のHPがリニューアルされました
- 2012.10.14 日本公衆衛生学会総会自由集会第12回 「知ろう・語ろう・考えよう！健やか親子21」～市町村規模別にみる発達障害児の支援体制について
- 2012.11.4 日本母性衛生学会 健やか親子21 23年度実績ならびに24年度行動計画
- 2012.12.16 愛育ねっと学会等報告「平成24年度健やか親子21全国大会群馬県大会」
- 2013.2.23 第12回健やか親子21推進協議会総会（開催案内）